マイトップニュース

平和 私たちがつくる

堀江（ほりえ） 七海（ななみ）さん（川西中３年）

今、日本を取り巻く外交関係はかつてないほどの緊張が高まっている。先日のミサイル発射によるＪアラート発動は国内に緊張を走らせた。

「愛の力で恐怖は乗り越えられる。命の力で暴力に勝てる」。こう語ったのは、コロンビアのサントス大統領だ。昨年、彼はコロンビア内戦の和平への努力が世界的に高く評価され、ノーベル平和賞を受賞した。彼の言葉は、世界中の平和を望む人々にどれほどの勇気を与えたことだろう。

私は、生まれた時から日本に住み、平和に毎日を送ってきたが、今の世界は不安や不満が満ち、平和とはほど遠いように思える。私も世界平和を心から願う者の一人である。より良い世界を築くためにどのようなことができるのだろうか。私たちは選挙に行けるし、自由な表現ができる。きっと平和とは、私たちの手でつくりあげていくものだと思う。

北朝鮮問題が席巻
国連の課題かすむ

【ニューヨーク共同】年1回の国連総会一般討論は21日までに、主要各国の演説がほぼ終了した。北朝鮮に関するニュースが総会を席巻し、地域の紛争や貧困対策、開発といった国連の伝統的な課題はかすんだ。外交儀礼上、慣例の裏返しで北朝鮮を非難したトランプ米大統領に違和感を覚えた外交官もいた。

両い注目は集めなかったが、重要な演説はいくつもあった。コロンビアのサントス大統領は昨年、コロンビア内戦の和平への努力が評価されノーベル平和賞を受けた。演説ではいかに左翼ゲリラとの和平を進めたかの説明に大半を費やし「愛の力で恐怖は乗り越えられる。命の力で暴力に勝てる」と締めくくった。

テロが頻発するアフガニスタンは治安が回復せず、自然災害も続く。ガニ大統領は「私たちは最愛を失わずに暮らしていると手ばつに耐えている」と訴え、国際支援を促した。

福井新聞

© 福井新聞社　無断複製・転載を禁じます